

■永福門院(藤原鐔子)  
えいふくもんいん  
日蓮佐渡配流1271=

伏見天皇の中宮。京極派の代表歌人として活躍するも、政治でも暗躍する為兼に翻弄された。

生。太政大臣西園寺実兼の長女。母は内大臣久我中院通成の娘従一位顕子。名は鏡子。

元寇文永の役1274= 3歳 :

異国降伏祈祷1280= 9歳 :  
元寇弘安の役1281=10歳 :

北条時宗没・1284=13歳 :

..... 1288=17歳 : 従三位に叙され、\*伏見天皇の女御となり、さらに中宮に冊立される。

久明親王將軍1289=18歳 :

時代は兩統迭立の複雑な抗争の中にあり、軋轢は中宮の身にもおのずとおよんだ。妹2人は、伏見天皇とは対立関係にある大覚寺統の龜山天皇の妃となり、末妹は後醍醐天皇の中宮となっている。中宮に子はなかったため胤仁親王を子とする。

平禅門の乱・1293=22歳 :

当時、歌壇は二条派と京極派が争っていたが、京極為兼は永福門院の実家である西園寺家とも深い関係にあったところから、伏見天皇とともに為兼を支持し、京極派の代表歌人として活躍。為兼は歌の上だけではなく政治上においても伏見天皇の謀臣として暗躍したので、

..... 1298=27歳 : \*為兼は佐渡に流され、伏見天皇は胤仁親王(後伏見天皇)に譲位。中宮もこれに伴い、永福内院と号する。

..... 1303=32歳 : 為兼が赦免となって帰京。

..... 1307=36歳 :

將軍追放交替1308=37歳 : 大覚寺統の後二条天皇が早世し、伏見上皇は第2皇子を立てて花園天皇とし、政権を取りもどし、

..... 1312=41歳 : \*伏見上皇は京極為兼に「玉葉集」を撰ばせ、女院の歌は49首入集。

しかし、為兼は西園寺実兼と政治的に対立し、その讒にあつて、

北条高時執権1316=45歳 : 再び土佐に流され、女院は落飾し、真如源と号する。

文保御和談・1317=46歳 : 伏見上皇が死去。

後醍醐天皇・1318=47歳 :

後醍醐天皇が即位すると、持明院統の力と京極派の勢力はたちまち衰え、代って二条派が栄え、女院は伏見上皇の第1皇子後伏見上皇、第2皇子花園上皇とともに持明院殿に住み、後伏見上皇の皇子量仁親王(光厳天皇)の養育に力を注ぎ、近侍たちを膝下に集め、持明院統の結束につとめた。兩統の争いは歌壇にも及び、後宇多天皇・後二条天皇・後醍醐天皇は二条派を好み、「新後撰集」「続千載集」「続後拾遺集」などを勅撰した。これに対し伏見天皇・後伏見天皇・花園天皇・光厳天皇は京極派を支持して、「玉葉集」「風雅集」「新千載集」などを勅撰した。

..... 1320=49歳 : 「続千載集」に女院の歌が添削されたことから、

..... 1323=52歳 :

\*「続後拾遺集」撰定時に、自歌はもちろん、全京極派歌人の作品提出を拒否した逸話が伝わっている。

..... 1325=54歳 :

元弘の乱・1331=60歳 : 量仁親王は光厳天皇として即位。

..... 1332=61歳 :

女院は生家西園寺家の北山第に退隠していたが、天皇は後伏見上皇・花園上皇ともどもうち揃って北山第に行幸、女院を慰め、善美をつくした宴が張られた。

鎌倉幕府滅亡1333=62歳 :

二条河原落書1334=63歳 :

南北朝分裂・1336=65歳 :

五山制定・1342=71歳 : 没した。

1346年に光厳上皇の撰による「風雅集」が編まれたが、女院の歌は伏見上皇について多く、69首入れられた。大覚寺統系の「新後撰集」に3首、「続千載集」に11首、「続後拾遺集」に2首というのに比べ、その差は余りに歴然としている。勅撰集に入ったもの150首を数え、ほかに自選の「百番御自歌合」1巻(200首)がある。女院の華やかな存在は「増鏡」に描かれ、政局や歌壇への目くぼりは「花園院辰記」にうかがわれる。